

大会概要

- 名 称：第39回全国健康福祉祭東京大会（ねんりんピックChōju東京2028）
- 会 期：2028年（令和10年）11月3日（金）～6日（月）
- 目 的：健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与
- 内 容：60歳以上の方を対象とする、スポーツ・文化の交流大会

基本方針

我が国は世界でも類を見ない速さで高齢化が進行し、2050年には3人に1人が65歳以上となる「超超高齢社会」を迎えます。こうした中で、誰もが、いくつになっても生き生きと地域や社会で活躍し続けるためには、年齢を重ねることをポジティブに捉え、高齢者の可能性を拓き、前向きで新しい「高齢者の未来像」を示していくことが重要です。

第39回全国健康福祉祭東京大会は、東京が持つ様々な強みを活かし、誰もがいつまでも輝ける真の成熟都市、世界に誇る長寿（Chōju）社会の実現に向けて、次の目標を掲げて開催します。



ねんりんピックChōju東京2028
公式マスコット「ゆりーと」

大会目標（抜粋）

① 心身の健康について見直すきっかけとなる大会

大会に参加する全ての人々が、健やかで心豊かに生きることの大切さを学び、生涯を通じて、健康づくりやフレイル予防、趣味や余暇の充実、就労等に取り組むきっかけを得られるような大会とします。

② デジタル技術や先端技術の可能性を実感できる大会

スタートアップ企業をはじめ、多様な業種・分野の企業が集積する東京の強みを活かし、QOLやウェルビーイングの向上につながる様々な技術に接し、その可能性を実感できる大会とします。

実現したいこと

先端技術を活用した都民の生活の質の向上

ねんりんピックの対象である60歳以上はもちろん、いつまでも自分らしく健康でいられるよう、世代を問わず健康寿命を延伸



ただ単に健康寿命を延伸するのではなく、楽しみながら健康づくりへ取り組むことで、自発的な運動や社会参加を誘発



スタートアップ企業の知恵と技術力を用いて、誰もが楽しみながら健康になり、都民の生活の質を向上